

質問順位1 鴻創会 坂本 晃

1. 施政方針

- (1) 平成30年度事業として位置づけられている主要事業の進捗について
  - ア 鴻巣駅東口駅通り地区市街地再開発事業
  - イ 北新宿第二土地区画整理事業・吹上北側生涯学習施設建設事業
  - ウ 川里中央公園整備事業
- (2) 市政の新たな方向性について
  - ア 子育て支援
  - イ 健康づくりの推進
  - ウ 定住促進

2. 予算（案）の大綱

- (1) 財政の見通しについて
  - ア 合併特例債の状況
  - イ 主な基金の状況とその考え方
- (2) 予算規模について
  - ア 一般会計の歳入
  - イ 今後の予算編成の見通し
  - ウ 公債費の返済計画
  - エ 今後の地方交付税の推移
- (3) 施策別事業について
  - ア 安全・安心に関する政策  
危機管理、ごみ処理事業
  - イ 保健・福祉・医療に関する政策  
国保事業、地域医療体制
  - ウ 教育・文化に関する政策  
中学校給食運営事業
  - エ 住みたい・住んでよかったと思える快適なまちづくり  
都市基盤整備（生活道路改良等）
  - オ 賑わいと活力と魅力を創出できるまちづくり  
観光戦略、農業政策

- カ 市民協働による、一人一人が主役のまちづくり  
自治会活動の支援
- (4) 個別事業について（鴻創会の要望事項）
  - ア 北鴻巣エリアにおける賑わいの創出について
  - イ 広田中央特定土地区画整理事業における交流施設予定地の活用について
  - ウ 吹上地域（仮称）コスモス保育園建設予定地の活用について
  - エ 中山道商店街街路灯の今後の維持管理のあり方について
- (5) 予算執行に向けた市長の政治姿勢

質問順位 2 | 公明党 潮田 幸子

- 1. 平成30年度施政方針及び予算(案)の大綱について
  - (1) 新年度予算編成に当たっての市長の基本的な考え方
    - ア 持続可能な財政運営について
    - イ 合併特例債の今後の活用ビジョン
    - ウ 産官学連携による地方創生の具体的展開
    - エ 産業立地の推進について
    - オ 道の駅整備事業について
  - (2) 誰もが安心して住み続けることのできる都市構築について
    - ア 子育ての総合的なサポートの環境整備ビジョン
    - イ 介護予防の積極的展開
    - ウ デマンド交通実証運行について

**質問順位 3** コスモスクラブ 羽鳥 健

1. 平成30年度施政方針及び予算（案）の大綱について
  - (1) 政治信条である「行政は最大のサービス業である」ことの16年間の成果と平成30年度の事業への反映について
  - (2) 吹上北側生涯学習施設に併設されない社会体育施設について
    - ア 平成27年3月定例会のコスモスクラブ代表質問以降の社会体育施設の検討状況について
    - イ 平成30年度予算にこの社会体育施設関連の予算が計上されていない点について
  - (3) 健康づくり部総合病院誘致担当の新設について
  - (4) 空家等適正管理事業について
  - (5) 果敢に挑戦する人口減少問題と定住促進について

**質問順位 4** 日本共産党 竹田 悦子

1. 財政運営について
  - (1) 日本国憲法、地方自治に基づいた財政運営にすること
  - (2) 予期しない財政需要への対応に備えて十分な財政調整基金残高を確保することよりも、今、高い国保税・介護保険料で大変な苦勞をしている市民の負担軽減を行い、安心して暮らせるよう支援すること
  - (3) 思い切って18歳まで、すべての子どもの医療費を無料にすること
  - (4) 学校給食費の無料化を進めること
  - (5) 生活保護費の削減に反対し、市として独自の生活保障をすること
2. 総合病院誘致について
  - (1) 国の医療政策として在宅医療へとシフトしている中、「第7次埼玉県地域保健医療計画」に基づき、どう実現していくのか
  - (2) 高度急性期・急性期・回復期・慢性期と区分化し、病床削減をもたらす医療政策に反対し、市民のいのちと健康を守ること
3. 道の駅構想について
  - (1) ハード面の構想よりも、地元の農業後継者を育てる施策に積極的に取り組むこと。所得補償を行い、花卉・果樹・野菜・稲作生産者を育成すること

質問順位 5 | かいえんたい 秋谷 修

1. 平成30年度施政方針及び予算(案)の大綱

- (1) 市長選挙における「鴻巣けんこう宣言」の総括  
「人もまちも健康」の達成度は
- (2) コウノトリの里づくり事業  
平成30年度以降のスケジュール及び将来的な目標とそれが本市に与える効果をどのように考えるか
- (3) 外国語教育推進事業  
平成30年度からの特別な教育課程の内容は。平成32年度からの英語教科化の全面実施との違いは